

ウ 視覚障害者、聴覚障害者、認知障害者等向けの情報支援機器、義肢装具、電動車いす、福祉車両、介護者を支援するための生活環境関連機器、ロボット等、先端技術を活用した福祉用具等の利用支援の観点から、利用者ニーズに関する調査研究、人材育成を含めた支援技術の確立等を推進するとともに、補装具費支給事業等を適切に実施し、また、相談支援体制の確保を図る。

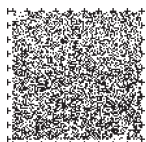
併せて、福祉用具等の安全評価を実施し、利用者ニーズに合った福祉用具の開発を推進するため、研究開発・評価の段階で利用者の参加を促進する。

## ⑤ 専門職種の養成・確保

### ○ 福祉人材の養成確保

ア 「福祉人材確保指針」を踏まえ、介護職員のキャリアアップの仕組みを構築するなど、福祉人材の養成・確保のための取組を強化する。

イ サービス管理責任者の養成及び継続的な研修システムを整備するとともに、リハビリテーション関係専門職員等の養成を推進する。



### 3 せいかつかんきょう 生活環境

#### ○基本方針

だれ かにてき せいかつ はい  
誰もが、快適で生活しやすいユニバーサルデザインに配  
りよ せいかつかんきょう せいび すいしん  
慮した生活環境の整備を推進する。

このため、しょうがいしゃとう ひと あんぜん あんしん せいかつ  
このため、障害者等すべての人が安全に安心して生活  
し、しゃかいさんか じゅうたく けんちくぶつ こうきょうこうつう きかん  
し、社会参加できるよう、住宅、建築物、公共交通機関、  
ほ こうくうかん せいかつこうかん か すいしん じたく  
歩行空間など生活空間のバリアフリー化を推進し、自宅か  
らこうつう きかん れんぞく かんきょう せい  
ら交通機関、まちなかまで連続したバリアフリー環境の整  
備 すいしん  
備を推進する。

また、ぼうさい ぼうはんたいさく すいしん  
また、防災、防犯対策を推進する。

#### ①住宅、建築物のバリアフリー化の推進

##### ○公共賃貸住宅のバリアフリー化の推進

しんせつ こうきょうちんたいじゅうたく か せいしん  
新設されるすべての公共賃貸住宅について、バリアフリー化を実施  
する。

##### ○障害者等の利用に配慮した住宅ストックの形成の推進

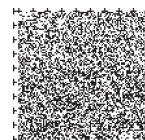
しょうがいしゃとう りよう はいりよ じゅうたく けいせい すいしん  
ア 手すりの設置、広い廊下幅の確保、段差の解消等がなされた住宅  
ストックの形成を推進する。

すう ち もくひょう たっせい きかん  
(数値目標・達成期間)

##### ○高齢者（65歳以上の者）の居住する住宅のバリアフ リ 一化率

いっぺい か ちゅう  
・一定のバリアフリー化（注1）

29% [15年度] → 75% [27年度]



・うち、<sup>こうど</sup>高度の<sup>か</sup>バリアフリー化<sup>ちゅう</sup>（注2）

6.7%〔15年度〕→25%〔27年度〕

（注1）2箇所以上の手すり設置又は屋内の<sup>だんさ</sup>段差<sup>かいしょう</sup>解消に<sup>がいたう</sup>該当

（注2）2箇所以上の手すり設置、屋内の<sup>だんさ</sup>段差<sup>かいしょう</sup>解消及び<sup>くるま</sup>車い

<sup>つうこう</sup>すで<sup>かのう</sup>通行可能な<sup>ろうか</sup>廊下幅の<sup>いはば</sup>いずれにも<sup>がいたう</sup>該当

イ 共同住宅のうち、<sup>きょうどう</sup>共同住宅のうち、<sup>どうろ</sup>道路から<sup>かくこ</sup>各戸の<sup>げんかん</sup>玄関まで<sup>くるま</sup>車いす等<sup>とう</sup>で<sup>つうこう</sup>通行可能  
な<sup>じゅうたく</sup>住宅ストックの<sup>けいせい</sup>形成を<sup>すいしん</sup>推進する。

<sup>すうち</sup>数値目標・<sup>たっせい</sup>達成期間<sup>きかん</sup>

○共同住宅のうち、<sup>きょうどう</sup>共同住宅のうち、<sup>どうろ</sup>道路から<sup>かくこ</sup>各戸の<sup>げんかん</sup>玄関まで<sup>くるま</sup>車いす等<sup>とう</sup>で

<sup>つうこう</sup>通行可能な<sup>じゅうたく</sup>住宅ストックの<sup>ひりつ</sup>比率

10%〔15年度〕→25%〔27年度〕

○<sup>けんちく</sup>建築物の<sup>か</sup>バリアフリー化の<sup>すいしん</sup>推進

<sup>ふとく</sup>不特定多数の<sup>しやう</sup>者又は<sup>おも</sup>主に<sup>こうれい</sup>高齢者、<sup>しょうがい</sup>障害者等<sup>りよう</sup>が<sup>とくべつ</sup>利用する<sup>とくべつ</sup>特別特定<sup>けんちく</sup>建築物

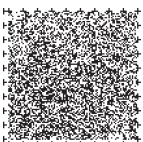
<sup>ぶつ</sup>物（<sup>ゆかめん</sup>床面積が<sup>2,000</sup>2,000平方メートル以上のもの）の<sup>か</sup>バリアフリー化を<sup>すいしん</sup>推進  
する。

<sup>すうち</sup>数値目標・<sup>たっせい</sup>達成期間<sup>きかん</sup>

○<sup>ゆかめん</sup>床面積<sup>2,000</sup>2,000m<sup>2</sup>以上の<sup>いじょう</sup>特別特定<sup>とくべつ</sup>特別特定<sup>けんちく</sup>建築物のうち、<sup>か</sup>バリアフ

<sup>り</sup>ー化されたものの<sup>わりあい</sup>割合

37%〔17年〕→約50%〔22年〕



## ○官庁施設のバリアフリー化の推進

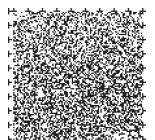
ア 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(以下「バリアフリー新法」という。)に基づいて、新営する国のすべての官庁施設を、移動等円滑化誘導基準に照らし、「すべての施設利用者が、できる限り、円滑かつ快適に利用できる」施設として整備する。

イ バリアフリー新法に基づいて、国の合同庁舎について、窓口までの経路、高齢者、障害者等に対応した便所(オストメイト対応)、駐車スペース等の整備を実施する。

### (数値目標・達成期間)

○国の合同庁舎のうち、窓口までの経路、高齢者、障害者等に対応した便所(オストメイト対応)、駐車スペース等の整備が行われた施設の割合  
7%〔19年度〕→50%〔24年度〕

ウ 窓口業務を行う官署が入居する国の既存官庁施設について、手すり、スロープ、視覚障害者誘導用ブロック、高齢者、障害者等に対応した便所、自動ドア、エレベーター(延床面積1,000平方メートル以上のもの)等の改修を実施する。



すう ち もくひょう たっせい き かん  
(数値目標・達成期間)

まどぐちぎょうむ おこな かんしょ にゆうきょ くに き そんかんちよう し せつ  
○窓口業務を行う官署が入居する国の既存官庁施設の

て し かくしょうがいしゃゆうどうよう  
うち、手すり、スロープ、視覚障害者誘導用ブロック、

こうれいしゃ しょうがいしゃとう たいおう べんじょ じどう  
高齢者、障害者等に対応した便所、自動ドア、エレベ

のべゆかめんせき へいほう いじょう とう  
ーター（延床面積1,000平方メートル以上のもの）等の

かいしゅう じっし わりあい  
改修を実施した割合

ねん ど ねん ど  
57% [14年度] → 100% [22年度]

ち ほうこうぎょうだんたい こうきょう し せつとう か すいしん  
○地方公共団体による公共施設等のバリアフリー化の推進

ち ほうこうぎょうだんたい おこな こうきょう し せつとう か し えん  
地方公共団体が行う公共施設等のバリアフリー化を支援する。

こうきょうこうつう き かん ほ こうくうかんとう か とう すいしん  
②公共交通機関、歩行空間等のバリアフリー化等の推進

りょかく し せつ か すいしん  
○旅客施設のバリアフリー化の推進

いちにち あ へいきん り ようしゃすう にん い じょう てつ き どうえき  
一日当たりの平均利用者数が5,000人以上である鉄軌道駅、バスタ

りょかくせん およ こうくうりょかく かん げんそく  
ーミナル、旅客船ターミナル及び航空旅客ターミナルに関し、原則す

だん さ かいしゅう し かくしょうがいしゃゆうどうよう せいび べんじょ  
べてについて、段差の解消、視覚障害者誘導用ブロックの整備、便所

ば あい こうれいしゃ しょうがいしゃとう たいおう べんじょ たいおう  
がある場合には高齢者、障害者等に対応した便所（オストメイト対応）

せつち すいしん  
の設置を推進する。

い がい てつ き どうえき ち いき じつじょう り  
また、これ以外の鉄軌道駅についても、地域の実情にかんがみ、利

ようしゃすう こうれいしゃ しょうがいしゃとう り よう じつたい ふ  
用者数のみならず、高齢者、障害者等の利用の実態を踏まえて、バリ

か か のう かぎ じっし  
アフリー化を可能な限り実施する。

